

こんにちは日本共産党
泉南市議員団
です

11月臨時
議会報告
11月14日～16日

全てのアスベスト 被害者の救済を

第2回(十一月)臨時議会で新たに北出議長など三役を選出、各種委員会の構成を決めました。共産党はアスベスト使用の学校給食調理機器の入れ替えの予算などに賛成しました。介護施設利用者へのホテルコスト並みの利用料の徴収で多額の負担増になる介護保険会計に反対しました。

国・企業の責任

石綿(アスベスト)による健康被害は多数の犠牲者がでるなどきわめて深刻な事態です。石綿使用工場等の労働者や事業者とその家族、周辺住民に被害が及んでいます。

政府と石綿関係企業は石綿の危険性を認識しながら、長年、石綿製品を製造・使用してきました。石綿被害の責任は政府と関係企業にあります。共産党は政府と企業の責任で全ての被害者を救済するアスベスト新法を制定させるためにがんばります。

地場産業として発展

泉南市は百年前に石綿産業が始まり、三十以上の企業があつたと考えられています。泉南市では石綿工場の関係者や周辺住民だけでなく、内職で石綿を扱ってきた人達も多くなります。

石綿は吸引して十五年から五十年で発病するので潜在的な被害者は相当な数になると予測されます。

遅れる市の対策、アスベスト調査

アスベスト調査

党議員団は八月にアスベスト対策について市長に申し入れました。健康診断や公共施設のアスベスト調査の実施、またアスベスト使用の給食センターの調理器機の交換など実現しました。学校のアスベスト調査が遅れ結果が出るのは来年です。

阪南市ではすでに調査の結果もでて春休みに三千万円の予算でアスベスト建材を取り除く学校の大規模改修を行います。

党議員団は、今後、被害が子ども達に及ばないよう市に危機意識を持った対応を求めました。

継続的な住民健康診断を

十月には五四人が参加した市の健康診断が実施されましたが、その後の計画もなく、被害者には専門医を紹介するだけです。共産党は聞き取り調査と多くの市民が参加できる健康診断を継続して実施するよを求めました。

アスベスト問題

あきらめず相談を
共産党議員は実態調査、法律相談、医療相談を受けます。

石綿被害者と市民の会が発足

十月に泉南市や阪南市を中心に、石綿工場の事業者や労働者、建設業者や市民を世話人に「泉南地域の石綿被害者と市民の会」が発足しました。被害の実態調査を進め被害者の救済

に取り組んでいます。また十一月二十七日(日)に樽井公民館で「医療と法律の相談会」を行いました。弁護士や医師が十数人参加、九十人を超える相談がありました。

市政への要望、暮らしのご相談はお気軽に日本共産党へ



わけ信子

信達市場116-230
TEL. FAX 82-5505



大森和夫

新家3524-2
TEL. FAX 85-0620
<http://www.ashitanojcp.net/~k.oomori/>



松本かよ子

信達牧野332-2
TEL. FAX 84-2216
ashitanojcp.net/~matsumoto/



ないた政彦

一丘団地74-102
TEL. 82-6837
FAX. 82-6841

部落解放同盟よりの「同和行政」

市民サービスよりも「同和研修」を優先！

平日の勤務時間に

職員175人動員

市と教育委員会は部落解放同盟大阪府連書記長を講師に、十一月九日(水)午後3時30分より文化ホールで同和研修のため「差別を許さない市民の集い」を開催しました。平日にもかかわらず175名の職員を動員、市民サービスよりも「同和研修」を優先させました。消防署や保育所、幼稚園からも動員しています。さらに近隣市町の職員・府立高校・関西空港・郵便局・JRからも参加がありました。



今でも

「人権」⇨同和教育を推進
教職員も151名参加

「同和問題」は基本的に解決していません。共産党は「同和教育」の中止を求めています。市教育委員会は今なお「人権」⇨同和教育を推進しています。十一月九日は小・中学校の教職員による独自の教育研究会が計画されているにもかかわらず市は「同和研修」を実施しました。教職員の総数約350名中151名が参加しました。

行政の中立・公正をおかす
部落解放同盟の役員を講師に

十一月八日の総務・文教常任協議会で共産党は、向井市長に「過去に暴力事件・利権問題が指摘されてきた部落解放同盟の役員を講師にすることは、行政の中立・公正をおかすものである。また市長は部落解放同盟よりの市政をすすめるのか。」と質問しました。市長は「講師は大学教授の肩書

介護保険

高齢者いじめ

年収80万円以上の

利用者は全て値上げ!

自・公・民が「改悪」

介護保険法は、自民・公明・民主

により改悪されました。特別養護老人ホームなどの、居住費や食費、又デイサービス・デイケアの食費も年収80万円以上の利用者はすべて自己負担増になります。施設の入所者からは「利用料が三万円も上がった。」デイサービス利用者からは「一万円以上も上がった」と党議員団に切実な声がよせられました。

きて来るのであって、部落解放同盟とは関係ない」とともに答えようとしませんでした。

差別の助長につながる

非常識な「落書き」展示

市は「研修会」の当日、会場に非常識な「落書き文書」を展示しました。党議員団は、このような非常識な「落書き文書」の展示は差別の助長につながりかねないと市を厳しく批判しました。

介護保険利用料の引き上げ
予算に反対

国の介護保険の「改悪」で利用料が値上げになるため党議員団は、市独自で利用料の軽減措置を強く求めました。しかし、市は「様子を見てから」というだけで何の対策も示しませんでした。党議員団は利用料値上げの補正予算に反対をいたしました。



共産党議員団の相談日

月曜日	わけ信子	場所・共産党控え室 (泉南市役所内2階)
水曜日	成田政彦	
木曜日	大森和夫	
金曜日	松本かよ子	
火曜日は団会議のため 相談はありません。		時間・午前9時から12時 連絡先・84-5728

泉南市でも軽減策を

全国の自治体では、デイサービスやデイケアなどの食事代の引き上げにより「家族や本人の負担が増え、通所をやめて家に閉じ込めてしまう」として負担軽減策を講じてきています。泉南市でもこうした制度が緊急に必要です。党議員団は引き続き介護保険施策の充実に向け取り組んでいきます。